

# 広報 やまこし

1975  
5/1  
第83号

発行 新潟県古志郡  
山古志村役場  
電話 竹沢局  
17 23 78  
印刷 大川印刷株式会社



お知らせ

## 国勢調査ポスター 及び標語懸賞募集 について

本年十月一日に行われる国勢調査に対する国民の注意を喚起し、その協力を得るため、国勢調査のポスター及び国勢調査の意義・目的を簡明にあらわす標語を募集しています。

### 一、ポスター

ポスターの図案は、一般(高校生を含む)の部、中学生の部、小学生の部に分け、募集する。

1. 大きさは、A二判(四二〇mm×五九四mm)又は、B二判(五一五mm×七二八mm)
2. 図案に用いる色の種類は自由

3. 図案にもりこむ文字は、「国勢調査」「昭和五十年」「十月一日」及び「総理府統計局」

4. 応募方法は、総理府統計局に郵送あるいは持参
5. しめきりは、昭和五十年五月二十六日
6. 発表は昭和五十年六月二十五日付官報に発表、入選者にも通知

7. 著作権は、総理府統計局に帰属する。
8. 応募作品は返却しない。

- 二、標語
1. 応募方法は、官製はがき一枚に一点の応募作品を記載し統計局に郵送する。
2. しめきり、その他はポスターの要領と同じです。

### ◎ 賞金及び賞品

入選作品には、一般、中学、小学の各部に分け賞金及び賞品が出されます。

(くわしくは総務課へ)

## 「感電事故」を防ぐためのお願い

皆さんが長かった冬も終わり、ようやく暖い春がやってきました。この季節になりますと「鯉のぼり」の竿をたてたり、雪のためにいたんだ「テレビアンテナ」の修理をしたり、新しくたてたりするときに、感電してケガをしたり、尊い命をなくされている事故が多くなっています。私たち東北電力では、このような事故が起きないよう電線路の見まわりに全力

をあげていますが、さらに皆さんのご協力によりまして、安全に楽しく過ごせるよう願っております。なお、電線路の近くで、作業をなさる場合は、東北電力にご連絡下さい。

東北電力小千谷営業所

## 昭和50年度間接撮影日程 (5・6月分)

— 結核予防のためレントゲン間接撮影は必ず受けてください —

月 日	場 所	時 間	対 象	予定人員	備考
5月23日	芹坪小学校	前11:30~後1:30	一般、小	200人	
6月2日	下村作業所前	前10:00~前11:30	一般	300人	
6月2日	種芋原小学校	後1:30~後3:30	一般、小、中、高	250人	
6月2日	中道屋商店前	後6:00~後8:00	一般	200人	夜
6月3日	檜ノ木入口	前9:00~前10:00	一般	100人	
6月3日	池谷小学校	前10:30~前11:30	一般、小	150人	
6月3日	大久保公民館前	後1:00~後2:00	一般	150人	
6月4日	山古志中学校	後1:30~後3:00	一般、中	250人	
6月4日	竹沢小学校	前10:00~12:00	一般、小	250人	
6月5日	長島商店前	前10:00~前11:30	一般	150人	
6月5日	仲間商店前	後1:00~後2:30	一般、小	170人	
6月6日	虫亀小学校	前10:00~後2:00	一般、小	350人	

ことしの豊作を願いつつ……  
雪の中で苗代もようやくでき上がった  
(4月23日撮影)



### 役場人事異動

村では四月一日付けで次のとおり新採用がありました。

- 産業建設課農業共済係 五十嵐 加一
- 住民課福祉係員 佐藤 雅俊
- 保育所係 青木 茂子

小幡 国作  
星 野 フジエ

### 主な記事

- ことしの予算から
- 春の交通安全運動
- 民芸品展示会から
- 農業委員会長決まる
- 日本消防協会定例表彰
- 役場事務嘱託員決まる
- 小・中等学校教員異動
- 融雪時の地すべり災害防止
- 行政相談委員畔上さん再任

### 村の人口

—4月1日現在—

世帯数	981	
人口	4,103人	(男 2,046人) (女 2,057人)
3月中の住民移動	出生 3人 (男0・女3)	死亡 4人 (男3・女1)
	転入 7人 (男2・女5)	転出 55人 (男21・女34)

# 過疎地域振興計画を軸に

## 総予算五億七千六百万円

一般会計五億七千六百万円、特別会計一億八千五百五十五万円あわせて七億六千五百五十五万円の五十年一度予算が三月議会で決まり、四月から新しい仕事のスタートをいたしました。

昨年が続いての国の総需要抑制策等きびしい情勢の中で、過疎地域振興計画による事業を軸として、**交通体系の整備**、**生活環境施設**、**社会福祉施設の整備**、**教育文化施設の整備**、**産業振興及び観光施設の促進**を目標にできるかぎりの予算がもりこまれていきます。

このように編成された一般会計は、昨年度にくらべて十八・一%の伸びとなり、建設事業等の投資的経費は、一億八千万円（総額の三一・三%）となっています。

歳出に要する財源は、地方交付税三億三千万円で全体の五八・三%と大半を占め、次いで国庫支出金、村債で二五・三%となり依存財源が中心となっています。

村税は、四・四%にあたる二千五百十万円が見込まれ、執行にあたっては経費の節約、事務の効率化に徹し、予算の効率的運用につとめることになっていきます。

### こんな仕事をします

**林道整備の促進**  
6カ所で舗装

**土木費**  
★ 9,746万円

交通体系の整備は、村の重点事業であり、九千七百四十六万円が計上されました。

県道の改良整備を促進すると共に村道の改良・舗装の計画は次のとおり。

- 虫亀間内平線改良(虫亀)
  - 虫亀間内平線舗装(間内平)
  - 梶金・木籠線舗装(梶金)
  - 油夫・山中線舗装(油夫)
  - 梶金・桂谷線舗装(大久保)
  - 山中・竹沢線舗装(大内)
  - 山古志中学校
  - 通学道路舗装(油夫)
- また、冬期交通確保のための対策費や雪上車の購入を計上し、橋りょうの架替や災害復旧事業費が見込まれています。

**民生費**  
★ 12,930万円

児童福祉の向上をめざして、竹沢へき地保育所を常設保育所として種芋原、虫亀部落を除く全地域の就学前児童を対象とする規模の保育所が竹沢下村地区内に建築することになりました。

このほか、老人福祉、身障者対策、国民年金関係等あわせて一億二千九百三十万円が計上されています。

### 竹沢保育所の建築

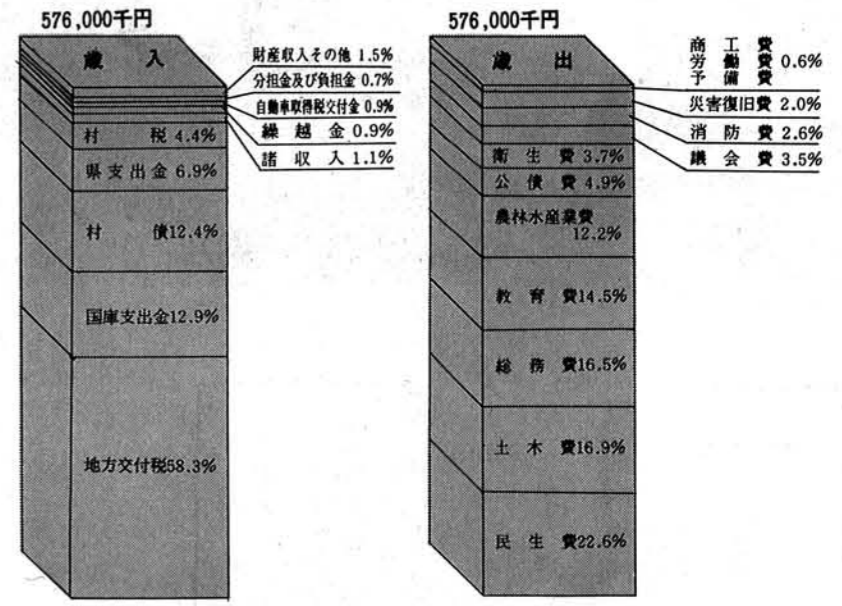
### 東竹沢統合小学校建設を推進

教育の振興をはかるために、梶木芹坪小学校の統合について昨年来関係者で協議を重ねてきましたが、ことしは東竹沢南原地区内に統合校舎の用地を購入し、自衛隊の協力を求めて用地の造成工事が予定されています。

また、池谷小学校プールの給水工事、芹坪小学校プール新設、山古志中学校グラウンド仕上工事などが見込まれています。

このほか社会教育振興のため、連合青年団、婦人団体協議会の補助金十二万円、学校体育施設開放のための建設費百六十六万円が計上されました。

**教育費**  
★ 8,364万円



### 農林道の整備を主力に

**農林水産業費**  
★ 7,028万円

農業と錦鯉の振興と農家経済安定をはかるために、昨年より六百六十七万円多い七千二百八十八万円が計上されました。

このうち最も多い農林道の新設・舗装事業は次のとおり

- 二平野農道新設 六〇〇万円
- 風口林道新設 一五〇万円

金倉林道新設 一五〇万円

風口林道舗装 五二〇万円

農道新設村単補助 三三三万円

水稲、畜産、錦鯉及び養蚕については前年通り補助金の交付を予定し、農業後継者対策はさらに内容を充実し、地域に即した農水産業の振興をはかることにしています。

**商工費**  
★ 223万円

商工費は、観光関係費を中心に二百二十三万円が計上されました。

主なものは次のとおりで観光開発の促進

### 錦鯉と闘牛を生かした

観光による地域開発を期待して観光協会のテコ入れや闘牛場施設の仕上げに要する経費を見込んでいます。

- 村商工会補助金 二〇万円
- 村観光協会補助金 六五万円
- 村闘牛飼育組合補助金六五万円

闘牛場整備関係費 五九万円

なお、ことしは山古志村観光開発公社設立の初年度であり、村民が一体となって、観光ふるさとの村づくりに各種事業にとり組むことになっていきます。

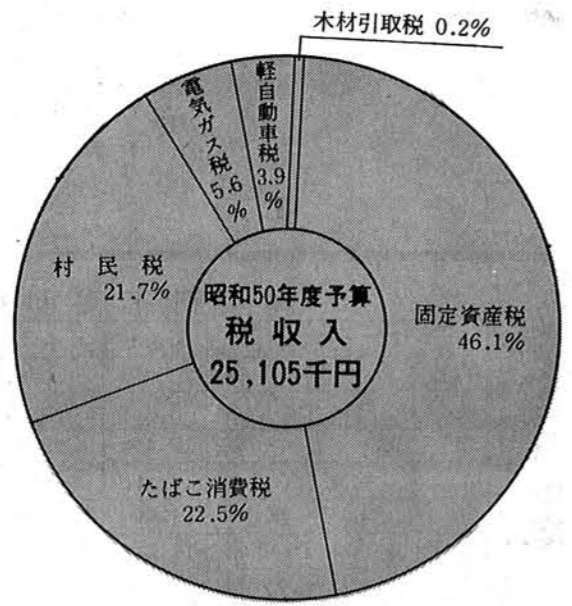
### 消防施設の整備促進

**消防費**  
★ 1,509万円

昨年購入した消防自動車の効率的使用と消防施設整備を中心とした千五百九万円が計上されました。

毎年度計画的に建設している防火貯水槽は、ことし種芋原、虫亀桂谷及び梶金地内に、火の見やぐらは大久保部落に建設が予定されています。

### 税はこんなになっている



議会議員の報酬や旅費、調査研究費及び事務局の費用等議会運営に要する経費千九百九十六万円が計上されました。

**災害復旧費**

過疎対策事業をはじめ、建設事業に要する起債(借入金)に対する元利償還金を見込んだもので、総予算の四・九%にあたる二千八百二十六万円が計上されました。

**衛生費**  
★ 2,133万円

### 診療所会計に 831万円

きるよう保健衛生、母子衛生、環境衛生及び成人病検診等あわせて二千三百三十三万円が計上されました。

このうち竹沢、虫亀及び種芋原診療所の特別会計に八百三十一万円の繰入れをはじめ、無医地区対策としてへき地保健医療薬品やマイクロボスの運営費、医学生修

**労働費**

出かせぎ対策として、組合の補助金十五万円をはじめ、雇用促進失業対策関係で三十一万円を見込

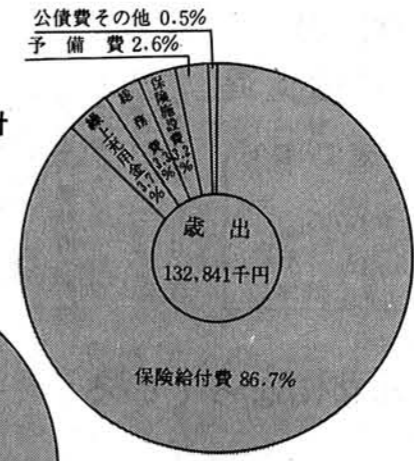
**青木秀敏議員 全国表彰に輝く**

多年議会議員として、地方自治の振興につくされた青木秀敏議員(当選五回、現総務委員長)は、去る二月七日全国町村議会議長会から栄えある表彰を受けられました。

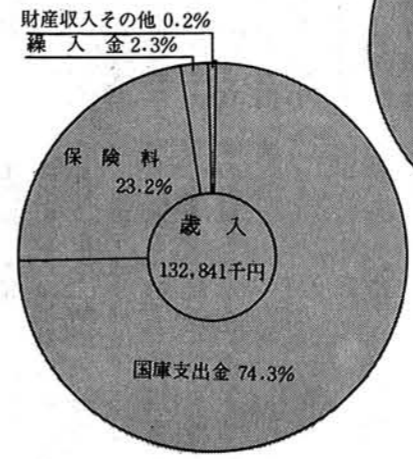
### 特別会計

## 国民健康保険

ことしの国民健康保険会計は、前年より四千九百四十...  
 ・九万円多い一億三千二百八十四万円が計上されました。  
 ・この内容はグラフの通りですが、老人医療費、妊産婦...  
 ・乳児医療費の無料化、高額医療費の支給、助産費、育...  
 ・児手当金及葬祭費の増額等により保険料は表のとおり...  
 ・一人当り六十七・五%の引き上げとなりました。



### 国民健康保険特別会計



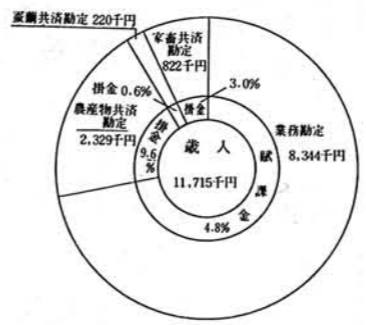
### 保険料年度別対比表

	S46	S47	S48	S49	S50
被世帯数	846	821	818	797	790
被保険者数	3,658	3,479	3,420	3,245	3,100
受診件数	12,464	10,958	12,300	12,623	13,200
1人当り療養の給付金	17,180	20,189	23,865	38,654	47,157
保険料の総額	14,406	16,782	16,813	20,621	33,000
1世帯当り保険料	17,028	20,441	20,558	25,874	41,772
1人当り保険料	3,938	4,824	4,916	6,355	10,645

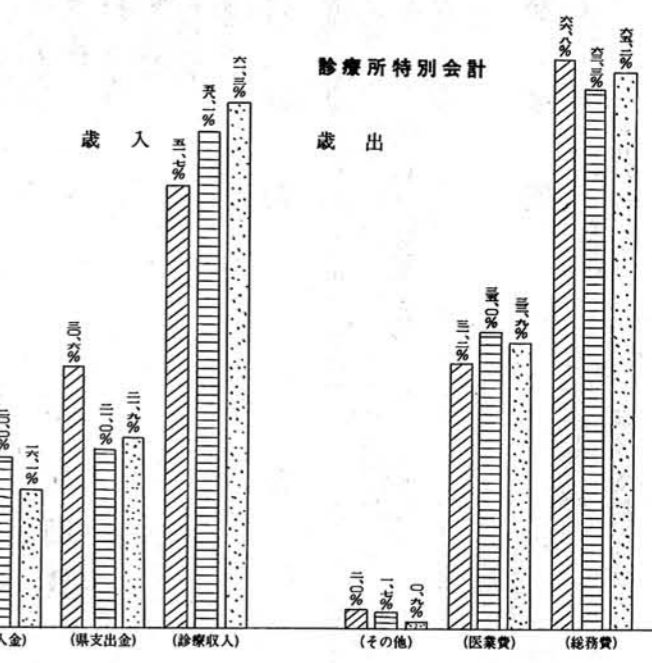
### 農業共済事業

山古志村農業共済事業は、四月一日から役場で実施することに伴って新たに特別会計を設けて、総予算は千七百七十一万五千円が計上されました。  
 業務勘定の支出内容は、職員給与、評価委員会報酬及び連合会負担金等八百三十四万を予定し、これに要する財源は、賦課金、県支出金、繰入金等を負担しています。

### 農業共済事業特別会計



### 診療所特別会計



診療所  
 ことしの診療所特別会計は、三つの診療所総額で四千四十九万円となり、昨年より約十九%伸びています。  
 内容は別表グラフのとおり、診療所の運営費に対し診療収入、県支出金の不足分を一般会計から八百三十一万円の繰入れをすることになっています。

### 春の交通安全運動実施

#### こどもと老人を

#### 交通事故から守ろう

五月十二日から二十一日まで

毎年行なわれている春の交通安全運動が五月十二日から実施されます。  
 この運動は、歩行者、運転者、運転者の雇主、その他陸上交通に関係するすべての者に交通安全思想の普及徹底を図り、正しい交通ルールの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的として行なわれるものです。  
 運動の重点  
 ① 歩行者・自転車利用者の事故防止、特にこども(幼児及び小学校児童をいう。)と老人を交通事故から守ることを重点として、次の事項を中心に交通安全のための県民運動が展開されます。  
 ② 生活ゾーンにおける交通安全確保対策の推進  
 ③ 交通安全教育の充実  
 ④ 広報活動の推進  
 以上三点を中心に実施されることとなります。  
 雪に埋もれた山古志でも、五月

### あなたも民芸品をどうぞ

#### 民芸品展示会から



去る四月一日種芋原地区では、公民館と民芸品生産クラブの共催による民芸品の展示会を催し、特産センターを会場に生産者ももちろんのこと展覧の地区民とともにアイデアの公開及び技術の発表会を行いました。  
 なお、この日は、アイデア賞、技能賞、努力賞などが設けられ、今後の観光に役立てたいと意欲をもやしていました。

### 自転車の交通安全事故を防ぐために

自転車の特性を正しく知り、楽しく安全な乗り物にする努力を怠りません。  
 自分で安全を確かめること  
 だれでも乗れるという気やすさからか、〇後からくる車を確かめないで急に進路を変えるなど、安全の基本を守らなかつたために起きる交通事故があとをたちません。  
 お互に正しい交通ルールで交通安全につとめましょう。

### 農業委員会会長に

#### 小川 甚 作さん

会長代理には 関 幸 作さん



小川さん



関さん

前農業委員会会長の風間伴治郎さん(種芋原)が共済組合解散に伴ない農業委員会会長を辞任されました。  
 たので四月一日付で会長に小川甚作さん(種芋原)会長代理には関幸作さんが選任されました。

### 日本消防協会定例表彰

#### 五十嵐団長に功績章

#### 青木副団長には精績章



五十嵐団長



青木副団長

日本消防協会の行なう昭和四十九年度定例表彰により、村では正副団長の両氏が表彰されました。  
 団長の五十嵐俊一氏に功績章、副団長の青木徳司氏には精績章と行いました。

# 役場事務嘱託員決まる

昭和三十九年度の役場事務嘱託員(区長)が次のとおり決まりました。	事務や部落と役場との連携、村民の直接の窓口として協力いただくことになりました。	
文書類の配付をはじめ、税務、土木、保険などの	よろしくお願いたします	
氏名	年齢	部落
佐藤 比呂吉	(五十七)	種芋原
田中 五郎	(六十四)	虫亀
齊藤 文一郎	(三十七)	池谷
畔上 勝太郎	(五十六)	下村
佐藤 幸博	(三十八)	二丁野
星野 幸博	(五十)	向田
川上 与志民	(五十三)	間内平
高野 清治	(五十九)	菅中
岡本 竜太郎	(四十三)	山内
星野 作一	(三十六)	油谷
小池 福治郎	(四十七)	桂谷
小池 俊郎	(六十七)	梶金
五十嵐 清	(四十二)	大久保
上田 祐吉	(六十八)	木籠
小川 実	(六十五)	小松倉
小川 実	(五十七)	

## 融雪時の地すべり災害の未然防止を

小雪かと思われた、この冬も、二月にはたびたびの大雪に見舞われ平年を上まわるほどの冬となりました。

毎年この乍ら春には雪のため、地すべり被害が出ていますが、本年も今が雪どけの時期で、すでに被害が出ております。また、これから被害がふえることが予想されますので地すべり兆候の早期発見などに充分気を配り、災害防止のためお互いが注意いたしましょう。

本村は、各地に地すべりの指定地があり、現在すでにすべっている区域、過去にすべったことのある区域などが多くあります。しかも養鯉地が増加し、池水が地下に浸透するなど、いっそうその危険性がふえてきているといえます。

すでに気象台による大雨注意報などが出されております。融雪時に大雨では地盤はゆるみ、地すべり、がけくずれが発生しやすい状態になります。

人命を災害から守り、耕地の欠壊などを未然に防ぐため日頃の防



畔上さん

## 行政相談委員に畔上才次郎さん再任

このほど畔上才次郎さん(木籠)が再び行政相談委員として行政管理局長官から委嘱されました。ご存じのように行政管理局は、国の行政が国民のために合理的で能率的に行なわれるよう、管理することを目的として設置されている役所です。

そこで、昭和三十六年には、「広く国民の意見や苦情を収集する目的で」行政相談委員制度が発足し現在に至っています。

役所に対する苦情や相談のある方は、直接口頭でされることをおすすめしますが、簡単なものは手紙でも電話でも結構ですから遠慮なくご相談ください。

電話は(竹沢)七二四三

**春の大掃除をしましょう**

厳しかった冬もようやく終わり、青葉の中で泳ぐコイノボリの見られる季節になりました。清潔で明るい生活を送るために春の大掃除を実施しましょう。ハエ、蚊の発生源となるごみ捨場などの薬剤散布も忘れずに……。

## 昭和49年度末 小・中高等学校教員人事異動

学校名	出		入	
	職名	氏名(年齢)	職名	氏名(年齢)
種芋原小学校	教頭 齊藤五郎(51)	燕市松長小	教頭 岡村喜市(41)	十日町市六箇小
	教諭 山内悦子(23)	栃尾市半藤小	教諭 真田才智(41)	栃尾市栃尾小
	養教 谷内和子(23)	小千谷市東小	教諭 藤本智子(22)	新採用
		長岡市柿小	教諭 藤本智子(21)	新採用
虫亀小学校	教頭 中野富次(48)	加茂市西小	教頭 関根勝哉(43)	岩船郡朝日村三面二中
	教諭 佐藤喜一(43)	長岡市教育委員会	教諭 原田実(40)	長岡市千手小
	教諭 高橋紀子(23)	長岡市川崎小	教諭 片桐洋子(22)	新採用
竹沢小学校	校長 中沢邦造(49)	下越教育事務所	校長 渡辺俊七(42)	中魚沼郡川西町高倉小
	教諭 日岡金洋(44)	北魚沼郡湯之谷村大沢小	教諭 勝沼英一(42)	三条市大崎小
	養教 笠井洋恵(23)	長岡市川崎小	教諭 丸山正三(43)	長岡市川崎市
		三島郡与板中	教諭 木村京子(21)	新採用
梶木小学校	教頭 清水士郎(47)	南魚沼郡大和町蔵上小	教頭 峯田昭治(44)	北蒲原郡笹神村山西小
種芋原中学校	校長 駒形宏(48)	山古志中	校長 田川利昭	長岡市東中
	教頭 荒井八郎(信)	三島郡与板中	教頭 土田功	長岡市教委青少年文化センター
	教諭 佐藤	長岡市東中	教諭 相田昇(37)	五泉市川東中
山古志中学校	校長 穴沢丹藏	長岡市江陽中	校長 駒形宏	種芋原中
	教諭 沢川真里子(23)	退職	教諭 藤田優子(27)	新採用
	教諭 及布百合子	燕市小池中	教諭 早川順子(23)	新採用
			主事 坂西裕子(22)	新採用
長岡農業高校	校長 小山孝義	退職	校長 吉田一郎	柏崎農業高校
山古志分校	教諭 長谷川昭夫(43)	長岡農業高校(本校)	教諭 松川顕(26)	新採用
	教諭 高浪浩(38)	安塚高校分校	教諭 石曾根広子(23)	興農館高校
	教諭 高岩喜市(32)	小千谷西高校	教諭 石部久(24)	新採用

## 村の鎮守様

さて今度は、十二山神社にうつろう。この十二山神社を氏神として、部落の鎮護と結合をはかっている処は、山古志村においては中野、寺野、梶金、間内平、それに諏訪神社と共に合祀している檜の木で案外多かった。もとより山の神の信仰から考えて間違いあるまい。

だがこの、十二山神社の名称のことであるが、この名称のもとに氏神として祭祀している地方は、きわめてすくないような気がする。というのは私が東京周辺と二、三の県をとらるるを周遊して見たが、この名称を使っていた神社にお目にかかったことは一度もなかったからである。

ただし、本年の二月、静岡県浜松市の郊外にある蛸塚遺跡を視察に行った際、蛸塚部落の一隅に戦前は郷社だったという、「山神社」の名称の立派な神社があった。この部落は有名な浜名湖畔にあるのだから、水に関係した神社であれば不思議と思わないが、それが反対の山神社であるから土地柄珍らしく、興味をひいたのである。何とか部落の人にその神社の話を聞いた。

かつては、あいにく次の予定地に行くバスの時間がなく、同行者も待っているため心ならずも断念せざるを得なかった。元来、日本では山村里村に限らず、農耕の社会や山林社会には、山の神の存在を信ずる風習があった。たとえば春になると山の神が里にくんだり、田や畑の神となり、そして冬になると山に還っていくという言い伝えである。山林社会でいうのは、春になると山の神が樹木の数を調べるために出られるかるとの言い伝え等である。にもかかわらざ「十二山神社」の名称の神社を見ることは一度もなかった。

群馬県や、埼玉県の山間部の農村をすこしあるいたことがあるが、その地方では正月の処もあり、二月にという処もあったが、八日には仕事を休むという理由はその日山の神様が、春の種まきのことや、山林樹木を調べるために里をあるかされる日だからだとのこと、その日、山に行くとその家は農作物の不作や何等かの災難に出あうとの言い伝えからだといわれ、俗に八日山という地方もあった。